



原作/阿部 夏丸
脚色/いずみ 凜
演出/中島 研
制作/西川 典之

●あらすじ●

主人公エイジは、元気で人気者な小学四年生。
お笑い好きのタカヒロや優等生のミサキ、虫が好きなちょっと変わったココロ、ユニークな同級生たちと毎日を過ごしていた。

そんなある日、偶然が重なり、突然エイジは「らんぼうもの」のレッテルを貼られてしまう。

どうしていいかわからないエイジは学校を逃げ出し、中学生のイサオと出会う。

「弱い者いじめはダメだ。迷惑たれながす奴もだめだ。かっこいいギャングになるんだ」と語るイサオ。

エイジは決めた。

目指すは<かっこいいギャング！>

こうして孤独を決めこんだエイジ。けれど、やっぱり親友タカヒロのピンチは放っておけない。ココロの機転でそのピンチを乗り切ったエイジたちは次なる作戦、ココロの夢の実現に乗り出す。

「夢は見るもんじゃない。叶えるもんだ」…？！
さあ果たしてココロの夢は叶うのか、そして、それぞれの夢の行方は？

劇団風の子中部



6月25日(日)16時30分開演

上田市 南小学校体育館

<16時10分開場 上演時間約70分予定>

主催/上田子ども劇場

☎ 0268(71)7349

mail : smile@uedakg.com



子ども劇場は、舞台芸術の鑑賞や自然体験などを
親子で、仲間と一緒に楽しむ会員制の会です。

心豊かな子どもの成長を願って…

お気軽にお問合せください。

ギャング・エイジ

劇団風の子中部

子どもはしたたかだ。

どんな時代であっても、どんな状況が襲ってきても、それを子どもたちの力で上手に乗り越えてきた時代があった。今の子どもたちだって、自分の力で克服していく力を持っているのだろう。いや、もっているはずだ。

実は今の大人社会のほうが、子どもたちを許容することができかどうか問われているのではないだろうか。

目の前にいる子がどうしたいのか、どうありたいのか、何故そうするのかより、その子の行動が世間の常識からはみ出していないかどうか基準になり、挙句の果てに子どもが動くより先に管理や制限をしてしまう。

大人の子どものまなざしが子どもに寄り添うものであった時、初めて子どもたちが生きる輝きを放つはずなのに。小学校3、4年生のことを総称し、ギャング・エイジと呼ぶ。

今もそれは変わらないはずである。

しかし、周りの評価の中で自らを規制し、自分を表現することができない子どもが増えてきているように思えてならない。遊んだり、ケンカしたりを繰り返し、その中で遭遇したさまざまなトラブルに対し、排除の論理ではなく、自分の思いをぶつけ合い、這い上がっていく子どもたちの姿を表現してみたい。

そんな思いが風の子中部の中からふつつと湧き上がってきた。

作家の阿部夏丸氏は語ってくれた。

「子どもたちは、どうのこうのと評論する大人が一番信用できない。本質は昔も今も何にも変わっていないんですよ。変わったのは、大人社会のありようなんです。だから、僕らはとことん子どもたちを信頼していきましょうよ。」
「ギャング・エイジ」英二を中心に、その仲間たちが、彼らを取り巻く現実に向かい合い、立ち向かっていくことができるのか。

それは、私たちのこの時代への挑戦かもしれない思いながら。

劇団風の子中部 西川典之



子ども時代のさまざまな体験や感動は
一生のたからもの！
一緒に楽しい活動を創っていきましょう！



会員
募集中

申し込み・お問い合わせは
上田子ども劇場

会費:1か月 ひとり 1,500円
入会金 200円

(4歳未満は無料で鑑賞会などに参加できます)

キリトリ

入会申込書

下記の必要事項を記入し、入会金と入会月の会費をそえて、お近くの会員か子ども劇場事務局にお申込みください。

名前	学年	生年月日	学校/園名	住所(〒 -)
	大人	年 月 日		
		年 月 日		
		年 月 日		TEL
		年 月 日		